

消火器訓練

<消火器の基礎知識>

消火器は消火する方法や消化する物によって種類が分かれています。その中で当園に設置されている消火器はABC消火器という種類になります。

ここでいうABCとはAが紙や木などの一般的な火災用、Bが油やガソリン用、Cが電気設備火災用を表しており、保育園で起こる可能性のある火災にほぼ適応できる種類となっています。

訓練用の消火器には水が入っていますが、実際にはピンクの粉が噴霧されます。

<初期消火について>

消火器を使用する消化は、あくまで初期消火を意味しており、明らかに炎が大きく初期消火が難しいときや、消火器を使用しても消しきれないときは速やかに避難し、安全な場所へ避難することを優先します。

<消火器の使用方法>

レバーについている安全ピンを抜きます。（抜けないときは力づくで引っこ抜く）ホースを火元に向けてレバーを強く握るとピンクの粉が噴霧されます。

<初期消火の方法>

消化をする際は、まず避難路を確保します。消化が上手くできなかったときはこの避難路から避難することになります。

消火器を使用すると視界が悪くなるので、避難路に背を向けて行うことに注意します。

消火器の噴霧時間は12～15秒で終了します。（実践では興奮していることもあり（一瞬で終了する感覚になる）、効果的に消化するために火元から3～5m離れたところから、火の根元から掃くように噴霧します。（火は下から上へ向かうので、火元から消化する）

1本ずつ操作するよりも複数で一斉に消化する方が効果的で、より大きな鎮圧効果が期待できます。

<日頃の心構えとして>

火災はいつ起こるかわかりません。日ごろから消火器がある位置を把握しておき、使用方法についても確認しておきましょう。